

SHOP NEWS 刊行物の紹介



未来に繋ぐみのかもの70年 A4判 40P 500円

「みのかもかるちすとくらぶ」会員限定特別体験会

日時 2025.1/12日 11:00-12:00
会場 企画展示室 美術工芸展示室
参加料 無料

「みのかもかるちすとくらぶ」とは、みのかも文化の森と美濃加茂市文化会館(かも〜る)の共通の友の会です。展示室の見学と合わせて、今回の展示に関連した普段見ることのできない収蔵庫の資料を間近に見ていただきたく、会員の方限定の体験会です。



2025年1月5日発行

森が大切にしているもの

17

市出身の郷土史家 林 魁一(1875-1961)が遺した多量の出土品のうち、美濃国刻印須恵器がありました。奈良時代始めの美濃で生産され、国名の印が押された須恵器は全国でも例が無く、重要な資料でした。



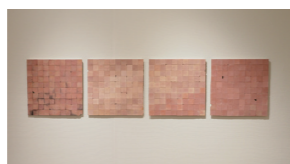
林魁一発見品と大正13(1924)年に報告された図

予告 芸術と自然

2025. 会期 2/22日 - 3/23日

会期中の休館日 2月25日、3月3日、10日、17日

会場 企画展示室 展示ホール



阿曾藍人《土の織物》 撮影:小寺克彦

来年の開館25周年を前に、当館で開館以来「芸術と自然」をテーマに開催してきた現代美術レジデンスプログラムの歩みをたどります。収蔵品から選んだ参加作家の作品を展示する他、昨までの23年分を振り返るパネル展、参加作家を講師に迎えた関連企画などを会期中に行います。

同時開催 収蔵品展 林武史 ドローイング展

2025. 会期 2/22日 - 3/23日

会期中の休館日 2月25日、3月3日、10日、17日

会場 美術工芸展示室

観覧無料



林武史《無題》

2020年度、当館で「石の記憶、泥の声」展を開催した彫刻家・林武史が手掛けた、石の彫刻制作に関連するドローイングの数々を展覧します。また作家が「石の記憶、泥の声」展に向けた準備期間中のコロナ禍に、東京藝術大学の教え子と共に制作したりレー・ドローイングを併せて紹介します。

forum & event

Table with forum & event details including Museum Talk, Workshop, and Art Talk.

forum & event

Table with forum & event details for artist talk with Rikiyuki Hayashi.

Instagram Follow Me! minokamo_bunkanomori_official

ご利用のご案内 開館時間 9:00~17:00 (ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00) 休館日 月曜日 (ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館) 年末年始

交通 ●鉄道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで 東海道本線・高山本線経由、特急「ひだ」で約40分 美濃太田駅北口から徒歩約17分 ●自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分 ●あい愛バス JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車 (乗車時間約10分) ※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください。 https://aiiai-bus.com/



Table with bus routes and fares between Minokamo Station and the Museum.

Webでも楽しもう!文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄って、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめるにこの展示室や現地を訪れてみてはいかがでしょうか。

文化の森HP http://www.forest.minokamo.gifu.jp/ →ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。文化の森HP http://www.forest.minokamo.gifu.jp/ →データベース→美濃加茂事典



みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム MINOKAMO CITY MUSEUM http://www.forest.minokamo.gifu.jp/



〒505-0004 岐阜県美濃加茂市 蜂屋町上峰屋3299-1 TEL: 0574-28-1110 FAX: 0574-28-1104

Bunkanomori Special exhibition!

美濃加茂市制70周年記念展 2024年度美濃加茂市民ミュージアム企画展

未来に繋ぐみのかもの70年

会期 2024.12/22日 - 2025.2/9日

会期中の休館日 12月23日、29日~31日 1月1日~3日、6日、14日、20日、27日 2月3日

会場 企画展示室・美術工芸展示室 観覧料 無料

【会期中、美術工芸展示室で70年を振り返る歴史的映像を上映します。】

加茂郡内の太田町と古井町を中心に、山之上村、蜂屋村、加茂野村、伊深村、三和村(川浦地区、甘屋地区)、下米田村、和知村牧野地区が合併して、昭和29(1954)年4月1日に美濃加茂市は産声をあげました。その市制施行から70年。社会が急速に拡大と変化を続けるなか、いくつもの困難を乗り越えて、道路や上下水道をはじめとする都市基盤の整備や、教育・文化・福祉の充実などが進められてきました。この展覧会では、これまでの資料調査をもとに、市の発足から今日に至るまでの美濃加茂市の歩みを資料や写真、年表をもとに振り返り、まちの移り変わりや暮らしの発展をたどります。そして過去について思いを巡らせることで、みのかもの今、そしてこれからについて改めて目を向けていただきたいと思います。

forum & event

Table with forum & event details including Museum Talk, Bus Tour, Lecture, and 70th Anniversary Concert.

イベント

minokamo city museum



●日時	●名称	●内容	●会場	●参加料	●定員
1/18(土) 14:00-15:00	第246回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:『処方箋のないクリニック』より 「もみじドライバー」 仙川環 / 作	緑のホール	無料	113名
2/15(土) 14:00-15:00	第247回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:「福袋」 朝井まかて / 作	緑のホール	無料	113名
3/15(土) 14:00-15:00	第248回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:詩「あなたの手と私の手を」吉田桃子 / 作 「チヨ子」宮部みゆき / 作 「いろはに、こんぺいとう」原田マハ / 作	緑のホール	無料	113名

四季を食べる講座



ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。【持ち物:エプロン、三角巾】

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/25(土) 10:30-13:30	市制70周年記念特別講座 昭和29年頃、こんな食べとったね...	美濃加茂市市制施行から70年。美濃加茂市ができた頃、市民のみなさんが食べていたものを少し再現しています。	要 事前申し込み 【12/17(火)~1/7(火)】	生活体験館 (まゆの家)	500円	15名
2/6(木) 10:30-13:30	手作りみそ	毎年大人気のみそ作りです。昨年漬けたみそも美味しくなっています。食べてみましょう。	要 事前申し込み 【12/24(火)~1/15(水)】	生活体験館 (まゆの家)	500円	15名

アートな1日講座



●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
2/16(日) ①13:00-14:30 ②15:00-16:30	陶芸で作る器	手びねりの技法またはろくろで簡単な器を作ります。出来上がった作品は、後日お渡しします。 持ち物:エプロン、タオル	要 事前申し込み 【1/7(火)~1/19(日)】 *申し込みの際は希望時間をご記入下さい。	陶芸室	1000円	各回8名

ていねいな暮らし講座

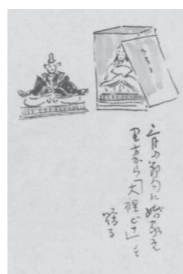


●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
3/13(木) 9:30-13:00	春を染める	春の草木で絹布を染めます。 持ち物:エプロン、ビニール袋、ゴム手袋、雑巾	要 事前申し込み 【1/21(火)~2/7(金)】	生活体験館 (まゆの家)	1500円	12名

まゆの家

年中行事 ひなかざり 2/9(日)~3/30(日) ひな人形、武者人形、動物など土びなを飾ります。 **自由観覧**

ひなかざり
(「富橋余」生活絵巻)より



ミュージアムレポート

新収蔵記念「本陣の品々」 美濃加茂市



2024年7月13日から8月25日にかけて、新収蔵記念「本陣の品々」を開催しました。本陣とは江戸時代の宿場に置かれ、大名など身分の高い人々が休憩や宿泊のために利用した施設です。美濃加茂市にはかつて太田宿があり、展覧会では太田宿の本陣にまつわる様々な品をご紹介します。

また、この展覧会は早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業として開催し、早稲田大学と同大学の本庄キャンパスがある埼玉県本庄市と共催したものです。本庄市にもかつて本庄宿があり、本陣に残された「休泊控帳」という宿泊記録を中心に7点の資料をお借りして展示しました。本庄宿の「休泊控帳」は1642年から221年分残されており、本陣が利用者を迎えるための準備などを詳しく知ることができます。

太田宿と本庄宿、それぞれの本陣に残された資料を同時にご紹介できたことで、本陣の活動をよりリアルに感じていただけたのではないかと思います。(美濃加茂市民ミュージアム Y.F)



美濃加茂市民ミュージアムでの展示の様子

「中山道と本陣—本庄宿と太田宿—」 本庄市

2024年10月12日から、企画展「中山道と本陣—本庄宿と太田宿—」を本庄早稲田の杜ミュージアムで開催しました(~2025年1月13日)。展示に向けて本庄市から美濃加茂市におうかがいし、太田宿の町並みの見学や本陣資料の調査を行いました。その中から「三十二間筋兜伝武田耕雲齋所用」や「三葉葵紋蒔絵硯箱」などの資料13点を借用し、「休泊控帳」などの本庄宿関係資料・早稲田大学所蔵の街道関係資料と合わせて展示しました。実際にかつて本陣で使われた資料に来館者の方はとても興味深そうに観覧されている様子でした。また太田宿に残る本陣門などの史跡もご紹介し、美濃加茂市をより身近に感じてもらうことができました。本庄宿に残る古文書資料と太田宿に残るモノ資料を一堂に展示することで、中山道の本陣を立体的に感じていただけたのではないかと考えています。

(本庄早稲田の杜ミュージアム H.A)



本庄早稲田の杜ミュージアムでの展示の様子



内覧会における両市長



資料を調査する両市の学芸員



企画展「中山道と本陣—本庄宿と太田宿—」

会 期: 2024年10月12日(土)~2025年1月13日(月/祝)

開館時間: 午前9時~午後4時30分

会 場: 本庄早稲田の杜ミュージアム 早稲田大学展示室

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
(早稲田大学93号館)1階

入 館 料: 無料

休 館 日: 月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12月28日~1月3日)

「本陣の品々」
図録販売中です!
A4判 8P 200円



事前申し込みについて

電話、FAXによる受付は行いません。右記のいずれかの方法でお申し込みください。

- 文化の森ホームページ講座専用申込フォーム
こちらの2次元コードからお申し込みできます。→
 - はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)
 - ご来館
- ※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にてお知らせいたします。



講座にお申し込みいただいた個人情報、以下の項目のみを使用します。
1. お申し込みに関する問合せ
2. 講座開催に関する連絡
3. 抽選結果の通知

※イベントや講座について、今後の予定や定員が変更になる場合がありますので、文化の森ホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。